

都市みらい通信

IFUD LETTER

平成10年11月

(財)都市みらい推進機構

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> まちづくり情報
・八幡東田総合開発計画 | <input type="checkbox"/> 都市みらいカレンダー
・平成10年度第1回「プロジェクト説明会」
・平成10年度調査研究発表会及び会員意見交換会 |
| <input type="checkbox"/> 平成10年度上半期財団受託調査一覧 | <input type="checkbox"/> 住都公団よりお知らせ
・N-Cityコンセプトコンペ |

平成10年11月20日

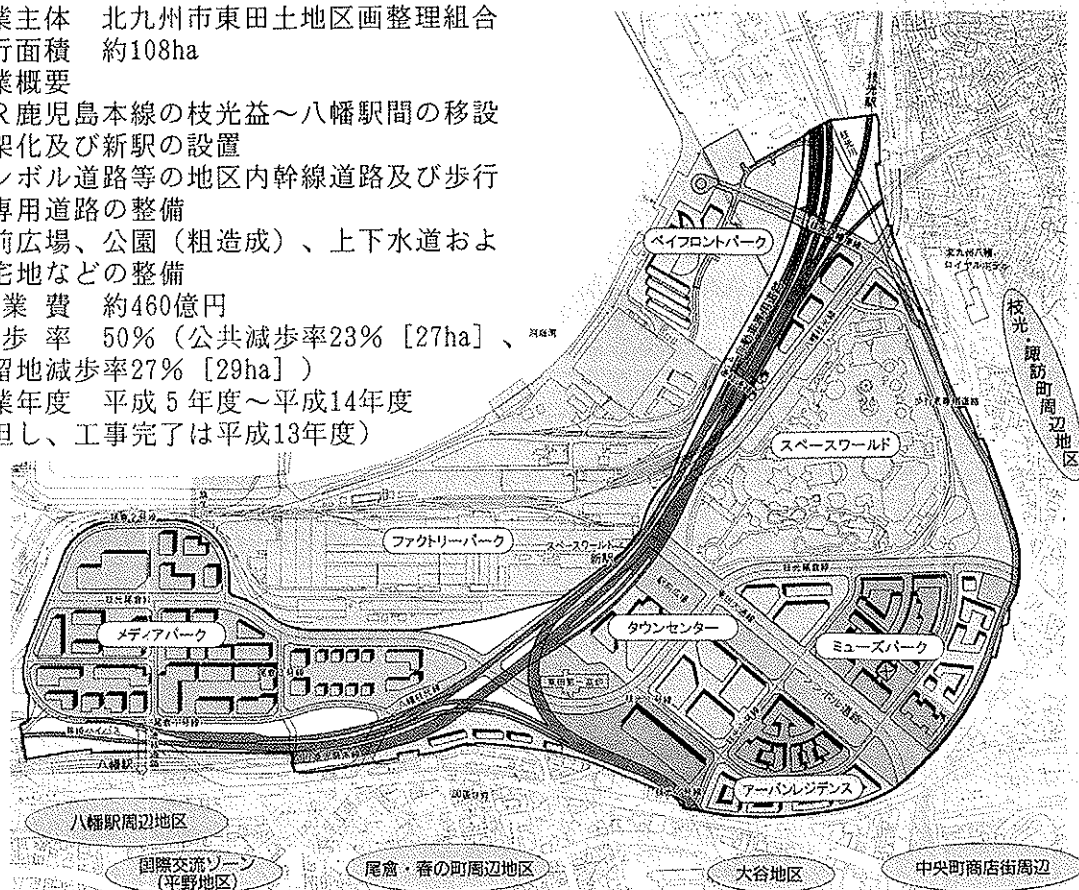
□まちづくり情報

八幡東田総合開発計画と「北九州博覧祭2001」基本構想について

北九州市において進められている、八幡東田総合開発計画と、同地区内で開催予定の「北九州博覧祭2001」についてご紹介します。

【東田土地区画整理事業の概要】

- 1) 事業名称 北九州都市計画事業
東田土地区画整理事業
- 2) 事業主体 北九州市東田土地区画整理組合
- 3) 施行面積 約108ha
- 4) 事業概要
 - JR鹿児島本線の枝光益～八幡駅間の移設高架化及び新駅の設置
 - シンボル道路等の地区内幹線道路及び歩行者専用道路の整備
 - 駅前広場、公園（粗造成）、上下水道および宅地などの整備
- 5) 事業費 約460億円
- 6) 減歩率 50%（公共減歩率23% [27ha]、保留地減歩率27% [29ha]）
- 7) 事業年度 平成5年度～平成14年度
（但し、工事完了は平成13年度）



8) 適用事業制度など

- 街並み・まちづくり総合支援事業（平成6年 地区指定）
- ふるさとの顔づくりモデル土地区画整理事業（平成6年 地区指定）
- その他（インテリジェント・シティ構想重点整備地区など）

【基盤整備の概要】

立地条件に優れた東田地区では、JR鹿児島本線の移設、自動車専用道路・地区内幹線道路の整備など、さらに、利便性の高い次世代都市の骨格が形成されます。

東田地区と周辺市街地の一体的整備を進めるため、JR鹿児島本線を直線化し、シンボル道路との交差部に新駅と駅前広場を設置し、交通ネットワークの中心とします。

さらに八幡駅の南北連絡通路の整備等による周辺地区との歩行者ネットワークの強化が検討されています。

新駅から伸びる「シンボル道路」は、単に交通動線としての機能だけでなく、大規模なイベント開催も可能な開放的な空間デザイン構成をもって計画されます。

交通動線としての東田大通り（幅員40m）と、公園および街区道路を含む幅員100mの一体的な公共空間を形成し、新都市のシンボリックな骨格軸をなします。

「ふるさとの顔づくりモデル土地区画整理事業」の導入により、シンボル空間を中心に個性的な舗道・サイン・ストリートファニチュアなどを整備、質の高い都市空間の形成を図ると共に、域内の電気・ガス・通信・上下水道などのライフラインをすべて地中化し、景観・機能性・安全性に優れた街づくりを進めます。

また、情報化に対応し、光ファイバー網の敷設や都市管理システムの導入など、高度情報基盤の整備も検討されています。

【事業用地の分譲】

東田地区全体の基盤整備は、平成13年（2001年）まで段階的に進められますが、その第1期開発として先行整備される西側の地区（メディアパーク地区約18ha）の用地については平成9年春より分譲を開始しました。

メディアパーク地区は、北九州市の都市開発拠点整備地区として位置づけられており、九州・アジア市場と直結する地勢と百万都市のほぼ中央に位置する好立地、周辺既成市街地と一体となった高度な都市機能、そして快適・利便な環境などを活かした都市型産業・生活空間の形成を目指しています。

したがって、研究開発や業務機能などに特化した従来のリサーチパークやサイエンスパークとは異なり、産業・業務だけでなく、商業・文化・アミューズメント等の多彩な施設の複合集積を図るため、製造業をはじめ情報サービス業から流通・販売業などあるいは海外企業まで、21世紀の産業をリードする意欲に溢れたあらゆる企業・機関の皆様にお集りいただき、市民と共に活力と賑わいのある街づくりを進めてゆきたいと考えています。

お問い合わせ先：八幡東田総合開発推進機構事務局

TEL 093-672-2040

E-mail: yh2001@kix.or.jp

【「北九州博覧祭2001」基本構想について】

平成10年6月5日、北九州市は2001年に八幡東田地区（約20ha）で開く博覧会の基本構想を発表しました。

2001年は、本格的な近代高炉の誕生からちょうど100周年にあたるのと同時に、21世紀の幕開けとなる年であり、北九州市の名前と活力を国内外にアピールするため開催するものです。工業都市として発展した市の歴史を踏まえ、主に産業技術をテーマとする計画で、従来の発想にとらわれない「博覧会」と「コンベンション」と「フェスティバル」が一体となった新しい博覧の『まつり』を推進することから、名称は「北九州博覧祭2001」としました。

「響きあう 人・まち・技術」をテーマに、産業・技術、環境、アジア、健康・福祉、産業観光の5つの視点から取り組みます。

小さな企業から大きな企業まで多様な企業が主体的に参加できる、新たな企業参加を目指すことなどが特色となっています。

また、地域への波及効果や企業の参加意欲を高めるために、通産省のジャパンエキスポ制度に申請し、さる11月6日付で認定を受けました。

今後のスケジュールは、以下のようになっています。

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1998年度（平成10年度） | ・実施組織（北九州博覧祭協会）設立 |
| | ・基本計画策定 |
| | ・第1次実施計画策定 |
| 1999年度（平成11年度） | ・第2次実施計画策定 |
| 2000年度（平成12年度） | ・各種個別実施計画及び実施・制作・施工 |
| 2001年度（平成13年度） | ・開催 |

お問い合わせ 北九州博覧祭協会事務局：西村、黒野

TEL 093-582-2001

（北九州企画局博覧祭推進室）

FAX 093-582-5399

平成10年度当財団にてこれまでに受託した調査は以下のとおりです。
尚、内容につきましてのお問い合わせは（企画調整部 小川）あるいは（開発調査部 森田）までお願いします。

地区名	調査件名	受託者	担当者
1. 街並み・まちづくり総合支援事業関連			
盛岡駅西口地区	街まち事業民間都市拠点立地促進調査委託務	盛岡市	戸田
仙台長町地区	長町地区施設立地促進検討調査業務	仙台市	林
秋田駅周辺地区	民間施設立地促進調査業務	秋田市	安藤
山形駅西地区	街づくりデザイン推進構想策定業務	山形市	中沢
水戸駅南口地区	事業化推進計画調査（その2）業務 特定再開発事業における中央街区形成促進調査 特定再開発事業における拠点施設検討調査	水戸市 地域公団 地域公団	見目
戸塚駅西口周辺地区	街まち事業総合基本設計書作成業務 公共施設等景観計画策定業務	横浜市 横浜市	征矢
静岡東部拠点地区	高次拠点施設等導入実現化検討調査	地域公団	見目
袋井市愛野地区	街まち事業総合基本設計書作成業務	袋井市	吉田
尾張西部都市拠点地区	地域交流センター施設計画等検討調査業務 街づくり基本方針検討業務	稲沢市 住都公団	林
J R奈良駅周辺地区	ふるさとの顔づくり設計業務	奈良市	征矢
北九州東折尾地区	街まち総合基本設計書作成業務	北九州市	吉田
大分駅周辺地区	駅関連交通施設整備計画検討業務	大分市	林

2. その他受託調査

創世さんく地区 (旧称：札幌国際ゾーン)	創世川通連続アンダーパス関連計画検討業務	札幌市	戸田
鶴岡地区	都市計画道路網調査	鶴岡市	松田
郡山市大町地区	街なか再生事業計画案作成業務	郡山市	征矢
東横線地下化上部	都心部交通基盤整備計画検討調査	横浜市	征矢
新潟駅周辺地区	事業化調査（その2）	新潟市	松田
長岡ニュータウン地区	スポーツ・健康ゾーン土地利用検討業務	地域公団	見目
高知市土佐橋地区	街なか再生事業調査業務	高知市	征矢
北九州砂津地区	土地利用転換推進計画策定調査	北九州市	吉田

このように従来型の拠点整備事業に加えて、中心市街地活性化にも取り組んでいます。
なお、上記以外にも建設省より東京臨海部関連調査・情報化調査、国土庁より防災拠点に関する調査、住都公団より、都市構造再編関連調査・土地有効利用関連調査、千葉市より中心市街地活性化基本計画策定業務等新しい分野の調査の受託が見込まれております。

都市みらいカレンダー

※印のある項目については解説があります。

月	日	項目	備考
11	26	※平成10年度第1回『プロジェクト説明会』（横浜ベイサイドマリーナ）	第1回
12	3	※平成10年度調査研究報告会並びに会員意見交換会	

平成10年度第1回『プロジェクト説明会』開催のお知らせ

当財団では皆様方が関心をお持ちで話題性のあるプロジェクトの説明会を開催することに致しました。

今回は平成10年度第1回目と致しまして、本年9月にオープンしたばかりのリゾート型ファクトリーアウトレット「横浜ベイサイドマリーナ」を取り上げさせて頂き、下記により開催致します。

事業主体の三井不動産㈱から開発の経緯等をご説明頂き、加えてパートナーとして企画設計を担当されたR T K Lインターナショナルリミテッド様（米国3位の設計事務所）から、海外

の開発事例を交えてのご説明を頂くことになっております。

尚、今後、会員各位のご要望をお聞きしながら開催を検討していく予定です。第2回としては、「東品川再開発」を考えております。

記

1. 日 時 平成10年11月26日(木) 13:30~15:00
2. 会 場 金沢産業振興センター サービスセンター2F 大会議室
京浜東北線・根岸線「新杉田駅」乗り換え
金沢シーサイドライン「産業振興センター」駅下車徒歩3分
3. 解説者 三井不動産(株)横浜支店業務施設事業室 次長 藤山勝済氏
(横浜ベイサイドマリーナ ショップス&レストランズ 総支配人)
RTKLインターナショナルリミテッド 日本事務所代表 ロナルド・E・ラボイエ氏

*尚、説明会終了後は「横浜ベイサイドマリーナ」へご案内いたします。説明会会場より金沢シーサイドラインを利用し、所要時間は約15分です。現地到着後は自由見学とさせていただきます。問い合わせ先：企画調整部 篠原・小川

平成10年度調査研究報告会ならびに会員意見交換会のお知らせ

当財団が実施しております受託調査並びに自主研究等の内容を会員の皆様に報告する場として、標記報告会を下記のとおり開催致します。

また、報告会に引き続き会員の皆様から財団事業に対するご意見をお伺いし、加えて会員相互の交流を密にすることを目的とした意見交換会を、簡単な立食パーティー形式で開催致します。

記

1. 日 時：平成10年12月3日(木) 15:00~17:00(調査研究報告会)
17:00~18:30(会員意見交換会)
2. 場 所：霞ヶ関東京會館 ゴールドスタールーム(霞ヶ関ビル 35F)
3. 内 容：①平成9年度調査の全体概要報告、②個別地区(仙台長町・水戸等)の概要報告
尚、来賓として建設省都市局まちづくり事業推進室より竹内室長、青木補佐をお招きし、都市行政の最近の話題についてお話をさせていただく予定です。

問い合わせ先：企画調整部 篠原・小川
開発調査部 森田

☆「プロジェクト説明会」および上記報告会のご案内状並びに参加申込書は、既にお手元にお届けしております。

会員の皆様にはお忙しい折ではございますが、万障繰り合わせの上ご参加くださいますようお願い申し上げます。

N-Cityコンセプトコンペー2001年の新しい生活ー

N-Cityは多摩ニュータウン西部の八王子市域に位置し、平成11年に街並みがオープンしたのち概ね3年間で約400戸の戸建住宅地の整備を進める新しい街です。

N-Cityは、居住者相互の生活支援や防火拠点機能を持つ「クラブライフハウス」およびコモンスペース等を設けることを提案することで、地域に住む方々の自発的なコミュニティ作りを積極的に支援する街づくりを目指すプロジェクトです。

プロジェクト実現の第一歩として、これからの「住まい」や「住まい方」、「コミュニティ」についてのアイデアを募集するコンセプトコンペを実施中です。

優れた提案については、住都公団が作品の主旨を尊重し事業に活用する予定です。

【応募方法等】

B部門：新しい街づくりに参考となる、支え合い持続するコミュニティづくりの提案
やあなたの地域のコミュニティ活動の実践に基づく提案をしてください。

〈応募締切1998年12月20日〉

FAX、葉書、またはホームページにて、B部門要項希望・氏名・住所・連絡先電話
(FAX)を明記し、下記まで送付ください。

●主催/住都公団多摩ニュータウン事業本部 他

●賞/B部門：最優秀賞1点(30万円)他

【要項請求先】

〒206-0024 東京都多摩市諏訪2-1741 住都公団多摩ニュータウン事業本部

「N-Cityコンペ事務局」

FAX:03-3234-2491 ホームページ <http://www.ncity-com/>

編集 (株)都市みらい推進機構 企画調整部
TEL 03-3423-2120 FAX 03-3423-2125